

令和8年度一般選抜（B日程）における小論文出題意図

人間生活学部 子ども学科

1. 小論文問題作成の基本的な考え方について

新潟県立大学の基本理念、人間生活学部と子ども学科のアドミッション・ポリシーに基づき、子ども学科が育てたい人材としての適性、資質及び大学の学びに必要な読解力、論述力を測る。

2. 試験問題の内容および意図について

（内容）

本出題で提示される文章は「数字と向き合う」ことに関する筆者の主張を扱った内容である。

（意図）

本問では、文章全体を通して筆者の主張を正確に読み取り、それを端的に表現することが求められている。これにより、受験生の読解力と文章力を測ることを目的としている。あわせて、筆者が指摘する「数字と向き合う」ことについて、本文の内容をふまえたうえで、受験生自身の考えを主体的に述べることも求められる。

設問の意図は、受験生が自分の考えを適切に表現できるか、本文の内容を的確にふまえているか、そして全体として説得力のある文章を書けるかどうかなど、論理的思考力や文章表現力を評価する点にある。それと同時に、子ども学科が育成をめざす「子どもや家庭、地域社会の課題に関心をもち、その解決を求める際に必要となる思考力・判断力・表現力をもつ人」にふさわしい資質を確認することも重要な目的である。

すなわち、他者を援助する際に、数字をいかに活用すると生活を豊かにすることができるか、という受験生の姿勢を問うことにより、その適性・意欲・関心を総合的に判断することができる。